

ハネナシアメンボ

カメムシ目アメンボ科

Gerris (Gerris) nepalensis Distant

石川県カテゴリー 準絶滅危惧

国カテゴリー なし

選定理由

都市部などで減少傾向にある。県内の生息地は約10箇所であり、生息環境の悪化の危険がある。

形態

体長6.5～10.0mm。体型は比較的幅広く、菱形である。腹部は短く、体長の1/2以下。体色は灰黒色～黒色。前脚の腿節内縁が褐色。触角は全体黒色。後胸基部、各腹節側部、各腹節側板の境界付近および体下面は灰青色の微毛で覆われる。無翅型が多いが長翅型も出現する。

国内分布

北海道、本州、隠岐島、四国、九州。

県内分布

加賀市、金沢市、かほく市、七尾市、珠洲市。分布は局所的であるが、生息地での個体数は多い。

生態

5～6月頃に水草に産卵し、幼虫は1ヶ月程で成長し、新成虫は8月頃に出現する。多化性ともいわれる。成虫は水辺の枯れ草、石、落ち葉の下で越冬する。通常は葉上で生活し水面を遊泳することもあるが、広い水面には出ない。ヒシにつくジュンサイハムシ幼虫や水面に落下した小昆虫を捕食する。

生息地の条件

平野部～丘陵部の、ヒシ、ジュンサイなどの浮葉植物の多い池沼などの開放水面の多い止水域。

生存の危機

池沼の開発や埋め立て、各種排水や農業による水質汚染、コンクリートなどによる護岸化、管理放棄などによる浮葉植物の消失。加賀市片野鴨池では、オオクチバス、アメリカザリガニが侵入しているため、外来種の駆除、侵入できない区域の設置などの保全策が必要である。(A, B, C)

参考文献

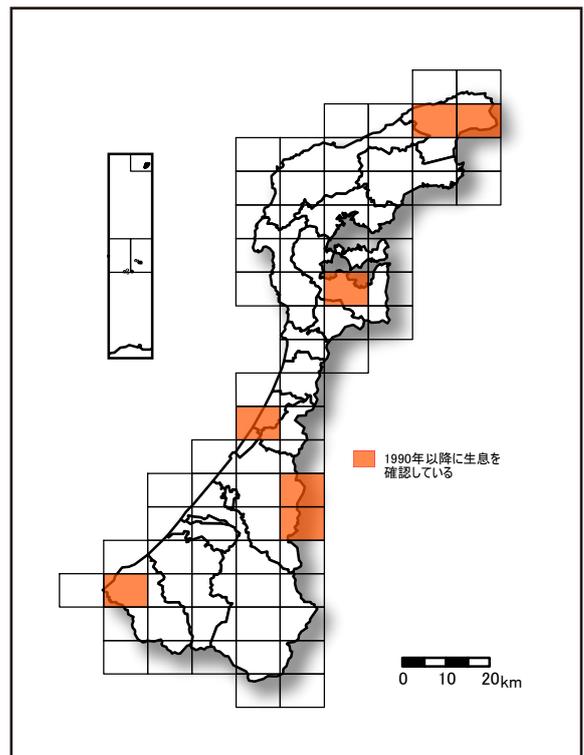
佐伯仁規・原田哲夫 2002. ハネナシアメンボの餌資源としてのジュンサイハムシ. 昆虫ニューシリーズ, 5(1): 9-15.

山尾あゆみ・中尾史郎・中島敦司・養父志乃夫・山田宏之 2002. アメンボ類の生息環境保全を目的とした淡水湿地の環境整備指針. ランドスケープ研究, 65(5): 527-532.

池田綱介・中筋房夫 2003. ヒシ群落のある溜池におけるジュンサイハムシとその他の昆虫の季節変動. 昆虫ニューシリーズ, 6(1): 9-18.



写真提供者: 西原昇吾



県内の分布